

放射能測定結果(試験焼却後測定)

富山地区広域圏事務組合

焼却灰等の放射性セシウム測定結果

試料採取日 平成24年12月20日の測定結果

単位:ベクレル/kg

試料名	放射性セシウム濃度	セシウム134	セシウム137
焼却灰(主灰)1号炉	ND(<10)	ND(<5)	ND(<5)
焼却灰(主灰)2号炉	ND(<10)	ND(<5)	ND(<5)
飛灰 1号炉	23	7	16
飛灰 2号炉	24	8	16
処理灰	14	ND(<5)	9

* 検出器の検出下限値はセシウム134、セシウム137それぞれ5Bq/kg。

* 「ND」(Not Detected)の表記は不検出(検出下限値未満)の意味。

表中では「ND(<検出下限値)」と表している。以下同様。

測定方法:平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第五部 放射能濃度等測定方法ガイドライン)による。

使用測定器:ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ社製 型式GC2520)

測定機関:日本海環境サービス(株)

主灰:ごみを燃やした際に発生する灰のうち、焼却炉から排出される灰(燃えがら)です。

飛灰:ごみを燃やした際に発生する灰のうち、排ガス出口のバグフィルターによって集められたばいじんです。

処理灰:飛灰を埋立処分するために、薬品処理した灰です。

* 放射性セシウム濃度については、セシウム濃度は検出下限値未満もありましたが、検出下限値も加算し、最大推計値で算定しました。